事業所における自己評価表(公表)

	放課後等デイサービス トロフィーアップ不二見	公表日　令和8　年　2月　1日					
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
1	事業所の設備等ついて利用者に合わせたバリアフリー等の配慮や定員に対して適切なスペースがとれていますか	4	2			支援室が3室あり、利用人数に応じて分散できるようにしている。	
2	支援員の資質の向上を行うために研修の機会を確保していますか	6					
3	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く支援員が参画できていますか	5	1			業務を分担することで合理化が進められている。 日常業務の中に組み込まれている。	
4	アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画が作成できていますか	6				普段から保護者様と話した内容について職員間で共有し、ニーズや課題を明確化している。 個別支援計画を読む限りなされている。	
5	活動プログラムの立案をチームで行っていますか	5	1			活動計画を周知する際に意見を出し合っている。 相談しながら進められている。	
6	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善に繋げられていますか	6				休みの職員が見ても分かりやすいように記載している。 お子様の課題分析と支援の検討が必要なケースが見られた場合、応用行動分析の手法を活用し、課題解決に向けて記録、分析を実施しています。 日々報告し、相談し合っている。	
7	日ごろからお子様の状況を保護者様と伝えあい、お子様の発達状況や課題について共通理解をもって支援を行えていますか	6				普段から保護者様と話した内容について職員間で共有し、ニーズや課題を明確化している。 お子さまの成長の様子や今後に向けて更に頑張りたいことをご家庭でも共有していきたい思いから、保護者様にもご理解頂けるように伝達やお話をさせて頂くよう心がけています。 保護者様のコメントのフィードバックも行われている。	
8	支援の内容やお子様の日々の様子について丁寧な説明を行っていますか	6				保護者様が話しやすい雰囲気で話せるように努めている。 送迎時の伝達だけでなく、LINE等を活用し、お子様の貴重な成長の様子などを写真や動画伝達で分かりやすくご説明し、共有させていただいています。 心がけている。	
9	保護者様からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ丁寧な対応をしていますか	6				保護者様から悩みや相談があった場合は、一旦持ち帰り、責任者と相談をしている。 相談していただいた内容は必ず児発管に共有している。 小さな悩みでもしっかりとキャッチしてトロフィーで協力できることがあれば、保護者様に提案したり受け止めたりして行けるようにし、職員間で共有すべき事は共有しています。 保護者から言われた悩みや疑問については、一旦持ち帰り、責任者の人に伝えてから責任者の方から回答している。 丁寧な対応を心掛けている。	
10	保護者様に対しての言葉遣いや言い方の配慮は適切に行っていますか	6				保護者様に快適に話していただけるように努めている。 職員のお伝えの仕方や答え方等を児発管等が確認するようにし、失礼がないように心掛けています。	
11	個人情報の取扱いに十分注意をしていますか	6				送迎時に配布物を持ち運ぶ際は、名前が外部の人に見られないようにしている。 個人情報にあたるものについて、取り扱い際にどのように取り扱うべきか、児発管等が口頭で確認しています。	
12	事業所内での体調の変化やケガ・外傷があった時に適切な対応と保護者様への報告をしていますか	6				早急に対応している。 職員間で情報共有を行ない、お子様の怪我の処置や体調観察等を優先し、即時保護者様への連絡や説明を行っています。 子どもの小さな変化を見逃さないように気をつけている。	
13	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出そのほか必要な訓練を行っていますか	6				定期的に避難訓練を行ったり、救急バッグの中身を再度確認をしている。 防災リュックの中身が不足していないか確認している。 防災訓練を行っている。 職員と利用者が自助共助できるよう訓練を行うようにしています。	
14	虐待を防止するため、職員の研修機会を保持する等、適切な対応を行えていますか	6				毎月、職員間で虐待防止についての意見交換を行っている。 研修や話し合いによって、事業所内で虐待防止人権保護意識を高め、自己研鑽に努めています。 子どもへもお客様という意識を持ち接している。	
15	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有できていますか	6				ヒヤリハットがあるたびに事業所内で共有し、再度起こらないようになぜ起きたのか検証を行っている。 ヒヤリハット事例が上がり次第、作成共有している。 ヒヤリハット等の報告を作成したら共有をしています。再発防止策を職員全員で考え、実行に努めています。 ヒヤリハットがある都度に全員で共有している。	